

# ソラランド平尾台（北九州市平尾台自然の郷） 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月16日（水） 16:35～18:20
- 2 場所 北九州市役所（小倉北区城内1番1号）地下2階第2入札室
- 3 出席者 （検討会構成員） 薛構成員（座長）、長構成員、加藤構成員、横田構成員、  
植田構成員  
（事務局） 都市戦略局緑政課長、公園経営係長、職員

## 4 会議内容

- 当日のスケジュール、審査にあたっての留意点、審査結果の公表等について事務局より説明。
- 構成員の互選により、座長を選出。

### ○応募団体（ハートランド平尾台株式会社）より提案概要に関してヒアリング

- （構成員） 損益計算書について、令和5年度増収減益の原因は。
- （応募団体） 人件費、物価の高騰と、経年劣化した施設の修繕等のため。
- （構成員） その原因だと、今後も赤字が続いていくと考えられるが対応は。また、今年度はどうなっているのか。
- （応募団体） 自主事業での収益を増やし、補填していく予定。今年度は悪天候の影響もあり現時点では赤字だが、下半期で取り戻したいと考えている。
- （構成員） 旅行業を活用したツアーについて、内容、参加者の反応及び利用者層を知りたい。
- （応募団体） BBQと鍾乳洞探索をセットにしたバスツアー等を数回行い、好評である。利用者層について、日帰りだと市内近郊、西日本旅行ネットワークの会を利用した宿泊客だとインバウンドの利用もある。
- （構成員） 西日本旅行ネットワークの会について、現在の実施段階は。また、軌道に乗るのはいつ頃か。
- （応募団体） 市内外含め約50社と連携し、バスツアー等の実施は開始している。今後は様々な方向により、県外及び欧米のインバウンド層へアプローチする予定。1～2年のうちには軌道に乗せたい。
- （構成員） 施設の管理運営を行う上で、今一番の課題は。
- （応募団体） 北九州市内の人口減と少子化が進んでいく中での集客策が課題。バスツアー等を利用し、市外やインバウンド層の集客をがんばりたい。
- （構成員） 若手人材の確保について、今後のキャリアパス等は伝えているか。
- （応募団体） 若手の提案を聞き逃さず、自分たちで実践させ、フィードバックを行うことを意識している。また、資格取得のフォローも行っている。

- (応募団体) 自分は現在30代前半で、課長代理をさせてもらっている。ここでしか味わえない達成感もあり、自分より若い世代も入社してきて、会社に明るい未来を感じているし、今後も継続して働きたいと考えている。
- (構成員) インバウンド層への現在と今後の対応について。
- (応募団体) ホームページは5か国語対応しており、西日本旅行ネットワークの会には通訳士も参加している。インバウンド向けのツアーについて、お試して通訳士の方に参加してもらい、フィードバックをもらう等、インバウンドの目線に立った対応が行えるよう心掛けている。
- (構成員) 指定管理業務の支出項目に広告宣伝費がないがどうPRする予定なのか。
- (応募団体) 運営管理費の項目に広告宣伝費を含んでいる。
- (構成員) 運営管理を行う中で大切にしていることは。
- (応募団体) 自然を守りつつ、利用者の満足度を上げる、というバランスを大切にしている。また、国定公園範囲のオーバーツーリズムには気を付けている。
- (構成員) 取締役及び監査役は会社にとどの程度来ているのか。
- (応募団体) 代表取締役は常勤で、何かあった際は随時ミーティングを行っている。他取締役等は年4回の取締役会。
- (構成員) 平尾台ブランドについて、今後の方向性は。ブランドデザインには注力しているのか。
- (応募団体) 今まで食の魅力が弱かったため、宮崎牛BBQやセットのバスツアー等に力を入れている。また、広報戦略については、専属プロデューサーを配置している。
- (構成員) 7月の草刈機での事故を受けた、安全対策の強化について。事故をきっかけに変わったことは？
- (応募団体) 市と相談しつつ、具体的なマニュアルを作る等の対策を行った他、被害者の方にも丁寧に対応している。事故を機にスタッフの心構えは変わったと感じている。
- (構成員) 前回の提案からアップデートされたことは。
- (応募団体) 利用者の方の声を受け、移動手段の増加や子供用トイレの増加等を提案に盛り込んでいる。また、少子化が進む中で、子供向け施設というイメージから脱却し、40～50代や女性層を獲得するため、ドックランの提供開始、レストランのリニューアル等を行った。

**○構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入。**

**○ 構成員は、応募団体の評価レベルを発表し、構成員全員で意見交換。**

- (構成員) ハートランド平尾台株式会社は、現指定管理者なこともあって、施設を熟知しており実績や経験も十分である。平尾台に対する意欲や想いを強く持って、管理運営に取り組んでいって欲しいと思う。
- (構成員) 西日本旅行ネットワークの会が軌道に乗れば、誘客や収入もさらに期待できると感じた。具体的な数字の目標等を再度スタッフ間で共有し、継続してがんばっていただきたい。

- (構成員) 事故防止策等、実際の事故を受け、しっかり考え直されている印象。若い世代を育てたいという前向きさもよい。
- (構成員) 周辺地域との連携も取れている。特に、県道の除雪等はかなり地域のためになっているのでは。
- (構成員) 平尾台ブランドについて、一体として打ち出すには統一性が感じられない。ブランド統一ディレクターを設定する等の工夫があればさらに魅力的なものになっていくのではないか。

#### ○各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

- 1 指定管理者としての適性のうち、
  - (1) 施設の管理運営に対する理念、基本方針について  
ハートランド平尾台株式会社 3
  - (2) 安定的な人的基盤や財政基盤について  
ハートランド平尾台株式会社 3
  - (3) 実績や経験などについて  
ハートランド平尾台株式会社 4
  
- 2 管理運営計画の適確性のうち、
  - (1) 施設の設置目的の達成に向けた取組みについて  
ハートランド平尾台株式会社 3
  - (2) 利用者の満足度について  
ハートランド平尾台株式会社 3
  - (3) 指定管理料及び収入について  
ハートランド平尾台株式会社 3
  - (4) 収支計画の妥当性及び実現可能性について  
ハートランド平尾台株式会社 3
  - (5) 管理運営体制などについて  
ハートランド平尾台株式会社 3
  - (6) 平等利用、安全対策、危機管理体制などについて  
ハートランド平尾台株式会社 3
  - (7) 社会貢献・地域貢献について  
ハートランド平尾台株式会社 4

が妥当であると決定した。

#### ○事務局は地元団体に対する優遇措置を反映させたうえでの合計得点を発表。

ハートランド平尾台株式会社 74点

#### ○構成員は、次のとおり検討会としての検討結果をとりまとめた。

ハートランド平尾台株式会社は、開園以来ソラランド平尾台を維持管理してきており、平尾台への想いは強く意欲もあり、いい空気感をもって運営できていると感じた。

審査の結果、検討会としてはハートランド平尾台株式会社が指定管理者の候補として相応しいと考える。

なお、付帯意見として、以下を付すことにした。

- ・長く同一施設を運営しているため、偏った思考にならないよう、心の新陳代謝を重要視すること
- ・若い人を含め、社員がのびのび働けるような環境づくりを継続すること

〇とりまとめを行って、検討会を終了した。